

TOYOTA MARINE

Ocean Style

Aug 2025 Vol.19

Proposed
the Play of Ocean



トヨタホームの叡智を結集させた、都市型邸宅。



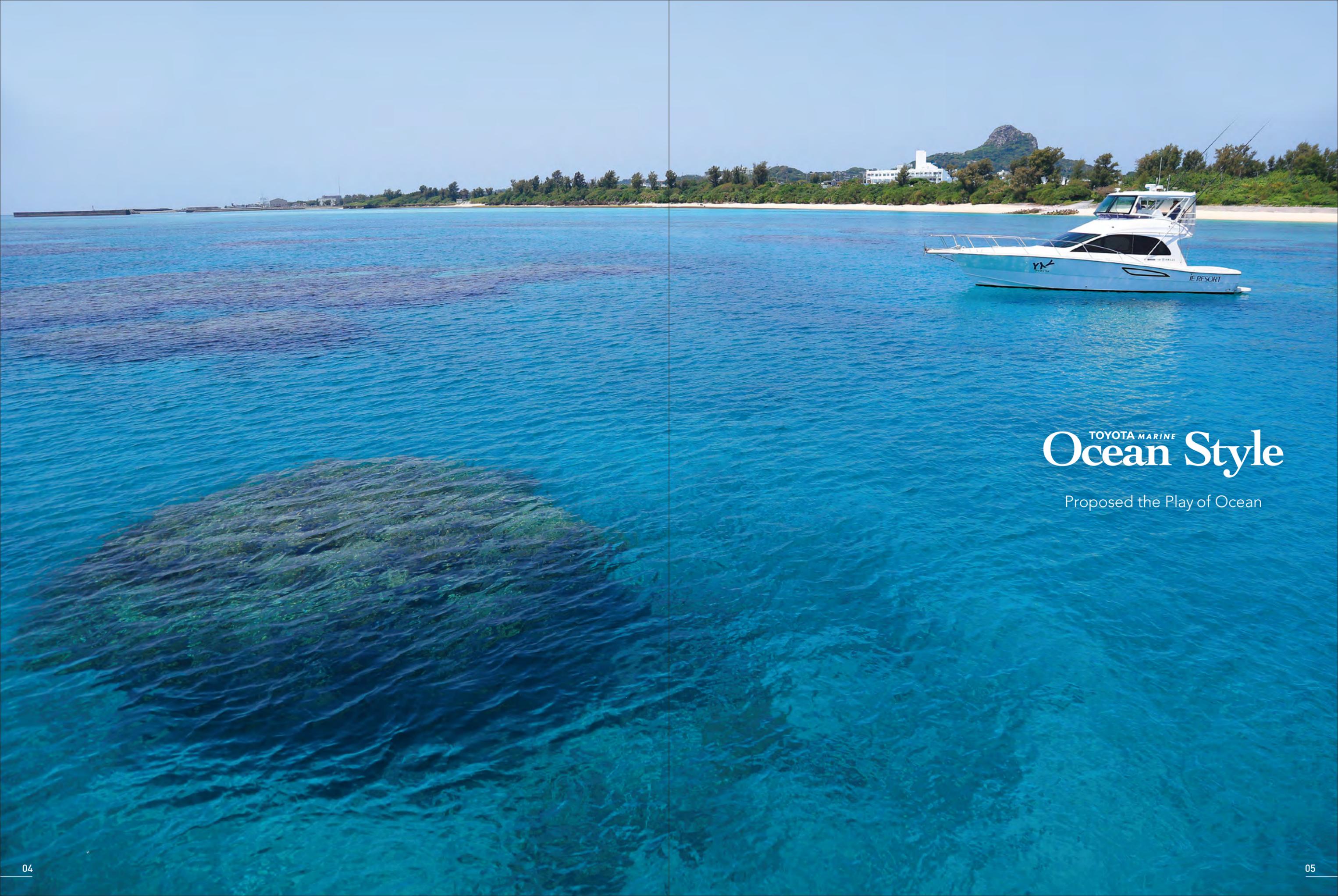
TOYOTAHOME EST

土地の選定からこだわり、その土地の性質を見極め、
既成概念にとらわれることなく、個性を追求する。
「ただ一度しか出会えないような邸宅をつくる」
この思想を基に、一邸一邸、独創的なプランニングを創造。

高水準の鉄骨構造体、85%を自社工場で組み立てる高品質な建物、
そして、まちづくりまでをこだわり尽くした、至高の邸宅をここに。

トヨタホームの最高峰・都市型新築分譲邸宅
「TOYOTA HOME EST」。





TOYOTA MARINE
Ocean Style

Proposed the Play of Ocean

Proposed the Play of Ocean

TOYOTA MARINE Ocean Style

— Aug 2025 Vol.19 —

08

ジャパンインターナショナルボートショー2025

JAPAN BOAT SHOW 2025
INTERNATIONAL



12

美ら海×女子旅 澄みきった海に癒される休日
～ 沖縄・伊江島 チャータークルージング～



20

PONAM-31 Z Grade 海と語らう、はじめての釣行記
▶ 釣りガール「フッチー」と行く、三重県・鳥羽沖ポートフィッシング



26

静かな夜を彩る、ラグジュアリーボートの饗宴
Ocean Breeze Premium in Ashiya Marina開催



30

光と音が織りなす、未来型花火エンターテインメント
STAR ISLAND 2025



32

マリンとラリーが交差する週末
蒲郡マリンフェスティバル in ラグナマリーナ初開催



34

マリンの魅力に触れる絶好の機会
エリア別ボートショーで船に乗ろう



36

SHOP DIVIDE VOL.1 MARINE GALLERY CRUISE
| ショップ探訪 | **マリンギャラリースタイルクルーズ**



38

PONAM LINE UP ポーナムラインナップインフォメーション

SeaSucker

載せたいアイテムを思いのままに。



SeaSucker 製品は強力な真空マウントが使用され、特別な加工なしで、様々なアイテムが取り付け可能です。脱着はほんの数秒。是非 SeaSucker のある世界をご体感ください。



株式会社リガーマリンエンジニアリング

三重県いなべ市大安町南金井1732番地
TEL:0594-87-0200 FAX:0594-87-0300

シーサッカージャパン 

SeaSucker.jp
公式



Instagram

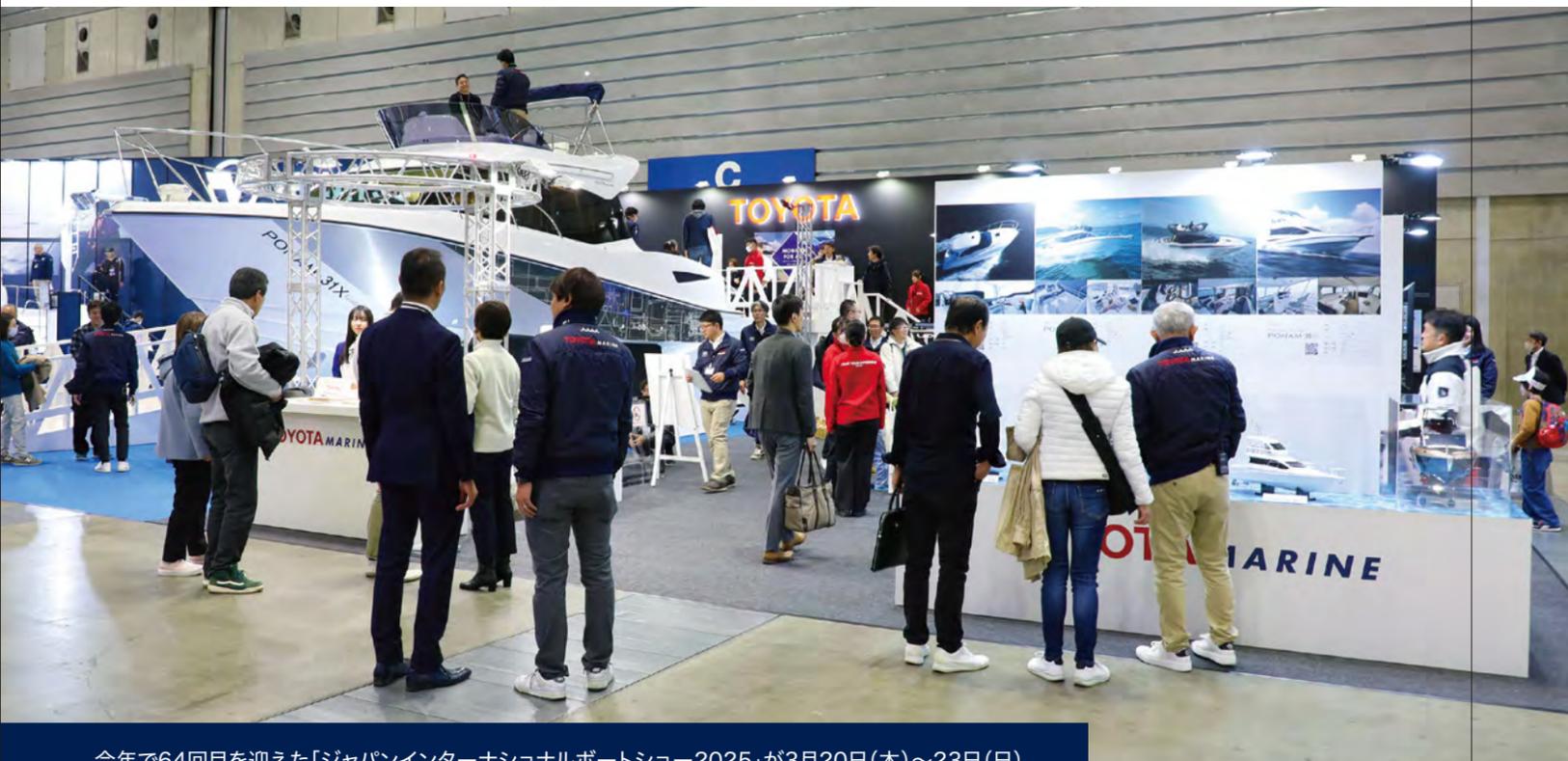


電子
カタログ



JAPAN BOATSHOW 2025

INTERNATIONAL



今年で64回目を迎えた「ジャパンインターナショナルボートショー2025」が3月20日(木)～23日(日)の4日間にわたり開催された。今回はパシフィコ横浜、横浜ベイサイドマリーナをメインに、約200の企業・団体が出展し、最新のボート、マリン関連製品、新たなサービスなどをアピール。総来場者数は45,382名に達し、前年から1万人近く増加するなど、会場は連日活気に包まれた。

パシフィコ横浜に出展した今年のトヨタマリンブース。「トヨタマリンが提案する海のPREMIUM OUTDOOR」をコンセプトに、「ラインナップ」、「先進機能」、「未来への取り組み」の3つのカテゴリで構成されていた。



ブースではPONAM-31Xグレードの実艇が展示され、整理券制で長時間並ぶことなくスムーズに船内見学が行われた。来場者でブース内は大きな賑わいを見せていた。



「未来に向けてのPREMIUM OUTDOOR」 トヨタマリンが描く未来志向の展示空間

今年のトヨタマリンブースのコンセプトは「未来に向けてのPREMIUM OUTDOOR」。パシフィコ横浜に設けられたブースは「ラインナップ展示」、「先進機能紹介」、「未来への取り組み」の3カテゴリで構成。ブース正面にはLEXUS LY680とともに、PONAMシリーズの全ラインナップの模型を展示。また、PONAM-31Xグレードの実艇展示ではアルミハルから内部構造までを可視化したようなデザインの特別仕様のフィルム

ラッピングにより、トヨタマリンのテクノロジーを視覚的に訴求する演出が施されていた。そして、2024年10月に発表された最新モデル・PONAM-35svはその装備や素材に至るまで詳しく紹介されており、機能性と環境配慮の両面から高い関心を集めていた。新たに採用された人工皮革やデッキ素材に実際に触れる来場者の姿が見られたほか、海洋プラスチックを回収・再生して作られた布を使用したクッションも展示。トヨタ独自の操船支援システム「TDA+」にも注目が集まっていた。他にも、CGでPONAM-35svの内外装を自由に確認できるアプリを用いたコンテンツも展開され、マリンファンにとって見応えのある内容となっていた。



今年は神奈川県内の4会場で開催され、メインのパシフィコ横浜と横浜ベイサイドマリーナに加え、日本丸シーカヤックパーク、八景島マリーナも会場として使用された。



期間中は子ども向け体験プログラムや「さかなクン」のステージイベント、女性向けの操船体験など、ファミリー層や女性が楽しめる多彩な企画を展開。子どもの来場者数は前年比267%増の4,860人、女性来場者数は148%の10,446人を記録し、マリンレジャーへの関心が幅広い層に広がっていることがうかがえた。



1. ブース正面にはLEXUS LY680とともに、PONAMシリーズの模型を配置。2. PONAM-31Xグレードにはアルミハルから内部構造までをスケルトン風に見せるフィルムラッピングを採用。3. アルミハルに興味を示す来場者も多く、FRPとの違いに対する質問も数多く寄せられた。4. トヨタ製エンジンをマリナイズしたエンジン性能への関心も高く、エンジンに関する質問も途切れることがなかった。

5. PONAM-35svに採用された人工皮革やデッキ素材に触れる来場者。6. 海洋プラスチックを回収、リサイクルして作った布を使用したクッションも展示されていた。7. TDA+やオートフラップ(Humphree)にも高い関心が寄せられ、機能面への注目度の高さもうかがえた。8. CGでPONAM-35svの内外装を確認できる展示には大人から子供まで幅広い世代が興味を示していた。



1. TDA+を使用した離着岸操船をVRゴーグルで体験する来場者。モニターに映るボートの動きには風や潮流による影響も考慮されており、TDA+の起動時にはそれらの影響が軽減された操船を体験することもできた。2. スマート操船の体験エリアでは来場者がスマホやスマートウォッチを使った操船を体験。スマホで船が動くことへの驚きの声も多く、注目度の高い機能となっていた。3. グラスを積んだままでもほとんど揺れない「揺れないイス」も来場者の注目を集めた。船の動きを模した振動に対し、高精度に揺れを抑制しており、ボート販売店やマリン関係者からの関心も高かった。

VRゴーグルやスマホを使った操船体験 会場でも注目を集めたトヨタの先進機能

ブース内に足を踏み入ると、トヨタマリンの先進機能をバーチャルで体験できるエリアが展開されており、VRゴーグルを使用した「TDA+（トヨタドライブアシストプラス）」による離着岸操船をはじめ、スマホやスマートウォッチを使った操船を画面上で体験できるコーナーも設置。また、「揺れないイス」のコンセプトモデルも参考出品。イスに積まれたグラスがほとんど揺れずに崩れない様子は驚きの声とともに業界関係者からも快適な航行の提供への期待の声をいただくなど、

注目を集めていた。トヨタが自動車開発で培ってきた技術をマリン分野に応用したものであり、操船時の負担軽減や快適性の向上に大きく貢献している。また、マリン分野でも水素の活用が期待される中、水素エンジンを搭載、アウトドアレジャーでの活用も提案しているLEXUS ROV Conceptを参考展示。モビリティへの水素活用に向けた活動にも来場者の興味を強く惹きつけていた。「未来に向けてのPREMIUM OUTDOOR」というコンセプトのもと展開された今年のトヨタマリンブース。トヨタの技術と発想力が凝縮された展示は先進機能の体験や未来への取り組みを通じて、これからのボートライフに対する新たな期待と関心を引き出す展示となった。



自然と共生しながら、オフロードの走りを楽しむライフスタイルを目指したコンセプトモデルLEXUS ROV Conceptを展示。

高い環境性能とLEXUSらしい上質さを兼ね備えた唯一無二のオフロードビークルは多くの来場者の注目を集めた。



展示エリアにはカーボンニュートラルやマルチパスウェイに関するパネル展示もあり、環境配慮を意識した未来志向の展示構成となっていた。



水素エネルギーを活用したモビリティとして、水素自転車を展示。



各地から集まった販売店スタッフが出展ブースに顔を揃え、記念撮影の場面も。ブース内では声を掛け合いながら来場者対応にあたり、現場には自然と一体感が生まれていた。

美ら海×女子旅 澄みきった海に癒される休日

～ 沖縄・伊江島 チャータークルージング～

伊江島



今回は女性モデル2人が沖縄本島からほど近い伊江島でチャータークルージングを体験。女子旅ならではの自由でリラックスした時間を満喫した。チャータークルージングは手ぶらで参加することもでき、気軽に非日常の時間を味わえる特別なアクティビティ。透明度の高い海を貸切のクルーザーで巡る時間はまさに贅沢そのもの。美しい海岸線を望むクルージングのほか、シュノーケリングやフィッシングも組み合わせ、沖縄の海を余すことなく楽しんだ。

旅の舞台は沖縄本島の北に浮かぶ伊江島。今回はPONAM-45で透明度抜群の海に出航。女子旅でのチャータークルージングを満喫した。



1. チャーター艇にはPONAM-45が採用されている。上質なクルーザーが沖縄の海を優雅に巡るひとときをアシストしてくれる。2. チャーターなら、時間も過ごし方もすべて自分たち次第。完全オーダーメイドで海を楽しめる。3. 操船席に座りイメージを膨らませる2人。実際の操船は経験豊富なスタッフが行ってくれる。

・・・チャータークルーズを楽しむコツ・・・

チャータークルーズを申し込む際は事前に行きたい場所や体験したいことを電話でホテルに相談しながら予約してみよう。iE RESORTでは季節ごとに最適な遊び方を熟知しており、お勧めのマリンレジャーやそれぞれのポイントでの所要時間などを考慮し、チャーター利用者に最適なプランを提案してくれる。1日でクルージング、釣り、シュノーケリングを全て楽しむプランもいいが、1つに絞ってのんびりとその遊びを楽しむのもお勧め。

※マリンアクティビティのお問い合わせ
YYY CLUB iE RESORT TEL:0980-50-6171

12:00

伊江港を出航

伊江島



伊江港を出た瞬間、エメラルドグリーンの海が視界いっぱい広がった。その透明度と広がる景色に、思わず息を呑む。



1. iE RESORTでは伊江港と本部港を結ぶ送迎サービスも行っており、チャータークルーズと合わせて高い人気を誇る。2. 豊かな自然に囲まれた伊江島沖はフォトスポットの宝庫。モデル：ゆいな(左) 東 真七水(右) 3. 移動中は広々としたサロンでひと息。スマホで撮った写真を見せ合ううちに、会話も自然と弾んでいく。

プライベートな空間で過ごす
自然と癒しに満ちた船上の時間

沖縄本島北部・本部港から船で約30分。東シナ海に浮かぶ伊江島は広々とした農地が広がるのどかな島風景と、島の象徴でもある城山(タッチュー)に代表される独特の地形が印象的な離島だ。島内にはゆったりとした時間が流れ、その素朴な景観は訪れる人の心をそっと解きほぐしてくれる。そんな伊江島にあるリゾートホテルYYY CLUB iE RESORTが展開するチャーター

クルージングはプライベートな空間でマリンライフを満喫できる贅沢な遊び方として、訪れる人に特別なひとときを約束する。洗練されたクルーザーに乗船する体験は非日常感を高めてくれる要素の一つで、船内の至る所で2人がスマホを構えるシーンを見ることができた。船上からの景色はどこを切り取ってもフォトジェニックなものばかりで、彼女たちにとっては撮影したくなるようなシーンの連続。タッチューを背景にした一枚も、透明度の高い海面を映し込んだセルフィーも、すべてが絵になる。誰にも邪魔されない空間で、心を解き放ち、2人だけの贅沢な時間をゆったりと楽しむ。そんな旅のかたちは、記憶にも写真にも美しく残っていく。

沖縄でしか出会えない海の絶景

沖縄に広がる海は、まさに“圧倒的”という言葉がふさわしい透明度を誇る。特に伊江島周辺の浅い海域では、水面を見下ろせば海底の砂紋や魚の影までくっきりと映し出される。足元に広がるその透明な世界に、2人は思わず見とれていた。エメラルドグリーンから深いブルーへとグラデーションを描くその色彩は、人工のどんな色彩

とも比較にならない、自然が生み出す唯一無二の美しさだ。そして目の前に広がるのは、日常とは完全に異なる風景。さら砂のビーチに打ち寄せる穏やかな波、遠くに浮かぶ島々、陽の傾きとともに表情を変える空と海。その一つひとつが、心を解き放ち、静かに感情を揺さぶる。海を見ながら語らう2人の姿には、時間の流れさえ忘れてしまいそうな穏やかさが漂っていた。自然と向き合い、優しく海に包まれるその瞬間が、2人の記憶に静かに染み込んでいく。

伊江島の南側に広がる海は思わず息を呑むほどの透明度を誇る。その海中に姿を現すのは巨大な珊瑚群。揺らめく水面越しに見るその姿は圧巻。

12:15
IE RESORT沖で
珊瑚礁を見学

伊江島

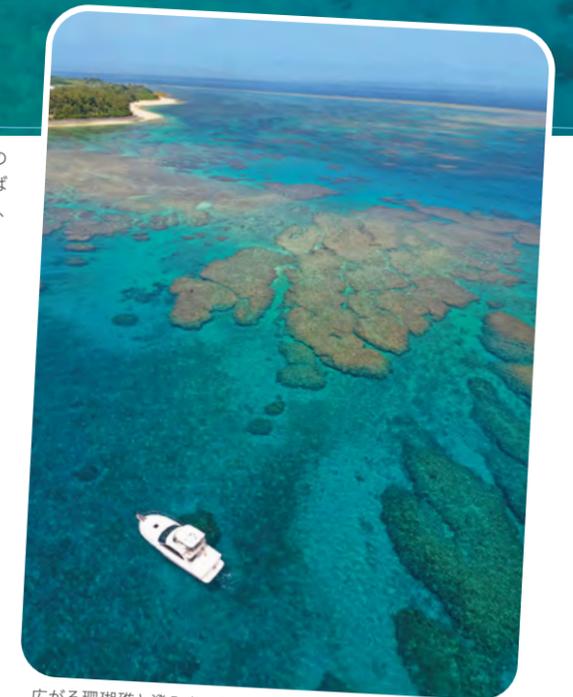


上空からドローンで見ると、海底の珊瑚がいくつも見え、自然の繊細な美しさに魅了される。

浅瀬には大きな珊瑚礁が多く、マイボートでの航行は難易度が高いが、チャーターであれば経験豊富なスタッフが操船してくれるため、景色を楽しむことに集中できる。



潮風を感じながら海を眺めるそのひとはゆっくりと時間がほどこけていくような感覚をもたらしてくれる。



広がる珊瑚礁と澄みきった海が織りなす景色はまるで自然が描いた水中の絵画。



13:00
 ウツガマを見学
 伊江島

伊江島の北東部に位置する「うつがま」は岩が複雑に入り組んだ独特の地形が印象的なダイビングスポット。独特の景観美がダイバーを惹きつける。



1. 岸壁がそびえる「うつがま」を間近に望むクルージングはまさに圧巻のひとつ。2. 伊江島北部の断崖下に湧く「ワジー」は生活用水として島の人々を支えてきた大切な水源地。3. 断崖と海が出会う神秘的な水源地を背景にここでも自撮りを楽しむ。4. プライベートな空間で、絶景を独り占め。滞在時間も自分たちで決められるため、のんびりとスマホで動画撮影する余裕も生まれた。

13:30
 ワジーを見学
 伊江島

何をするかは自分次第
 自在にアレンジできる海遊び

伊江島周辺の海域ではクルージング、シュノーケリング、フィッシングといった多彩なマリナクティビティを通して、海の魅力を全身で体感することができる。今回は「3つすべてを楽しみたい」という2人の希望もあり、時間を区切りながら、3つのアクティビティを楽しむことに。クルージングでは陸からは決して望めない角度と距離感で、白砂のビーチや真下に広がる珊瑚礁、岸壁が連なる雄大な風景など、伊江島ならではの景観美をたっぷり味わった。シュノーケリングは伊江島の海の透明度を最も近くで感じられるアクティビティとなっており、船上から

海へと飛び込んだ2人はそのあまりの透明度に驚きを隠せない様子で、水面から顔を上げるたびに弾けるような笑顔を見せてくれた。静かな海に浮かびながら味わう海中でのひときは静寂と感動が共存する、忘れがたい時間となっていた。一方、フィッシングでは気軽に楽しめる近海の釣りを中心に、沖縄ならではの魚を狙ってじっくりと釣りに興じた。波音に包まれながら魚と向き合うその時間はリラックスと高揚感が入り混じる、特別なひとときとなった。クルージングで景観を楽しみ、シュノーケリングで海の中に触れ、フィッシングで自然の恵みと対話する。伊江島のマリナクティビティはそれぞれが異なる魅力を放ちながら、すべての瞬間をかけがえのない体験へと昇華させてくれる。自然と一体になる喜び。それは、ここでしか味わえない。



13:45
 シュノーケリング開始
 伊江島

器材などもレンタル可能のため、事前に予約しておけば手ぶらでも楽しめる。

ワジー周辺でシュノーケリングをする際は環境保護の観点から、アンカーをむやみに落とすことはせず、専用パイロープを固定して船を止めている。



初心者にも配慮された丁寧なポイントレッスンも魅力。



珊瑚の群生が圧巻。静かに広がる海底のスケール感を全身で感じられる。

2人だけのプライベートな雰囲気、大好きなシュノーケリングをたっぷり楽しめました。プランを自分たちで決められるのも嬉しいポイントです。



青く澄んだ海とともに残す記念の一枚が、思い出の瞬間をより特別なものにしてくれる。



チャーターならではの開放感で、のんびりと楽しめる。

15:00
 釣り開始
 (ポイントは当日判断)
 ※16時に釣りを終了し、16時30分に伊江港へ帰港。



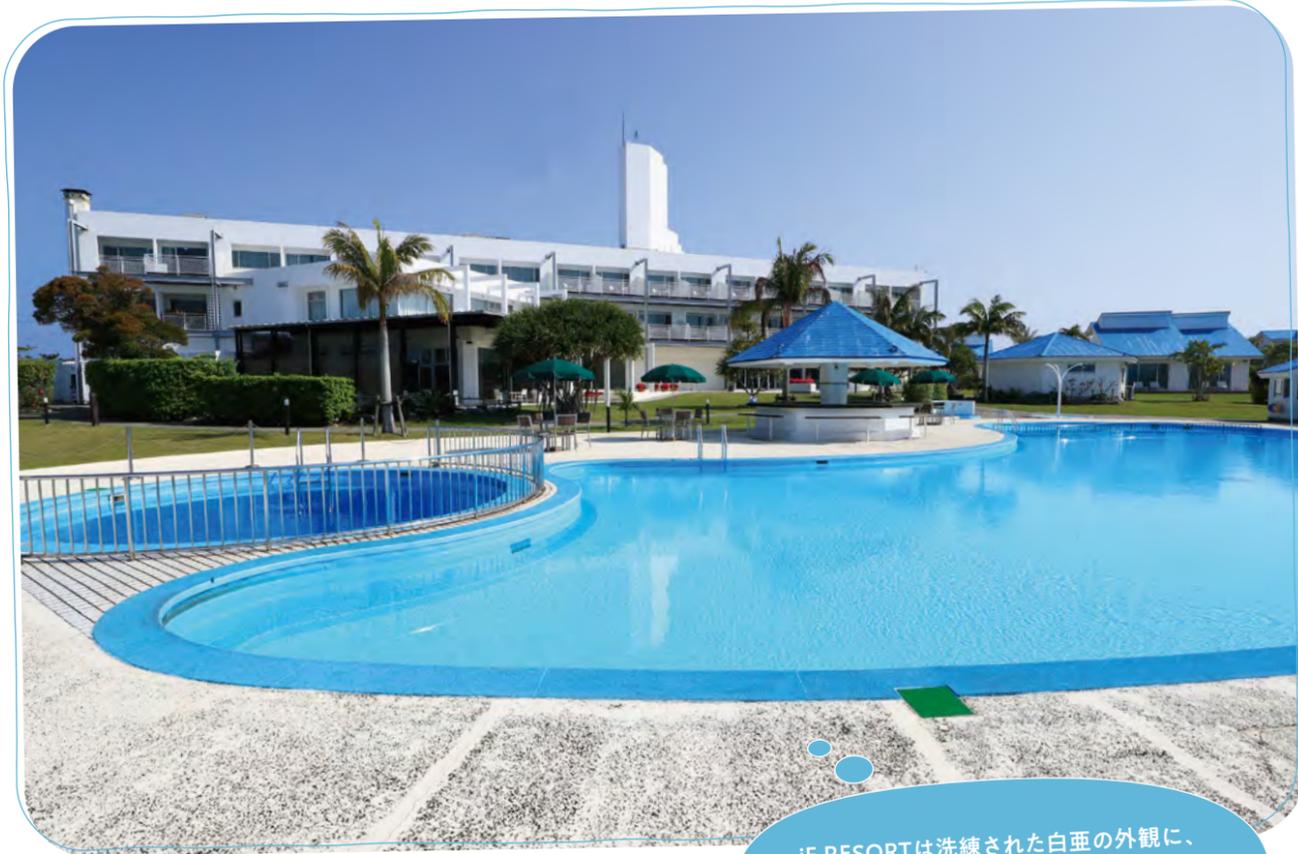
経験豊富なスタッフからのサポートが受けられるため初心者でも安心して挑戦できる。



綺麗な海で釣りにも挑戦！
 意外と簡単に釣れてびっくり！



丁寧なサポートもあり、初心者ながら見事に魚を釣り上げた。



iE RESORTは洗練された白亜の外観に、開放感あふれるプールを備えた伊江島でも屈指の人気を誇るリゾート施設。

伊江島の海と食を堪能する
 極上のひととき

伊江島の南東に位置するiE RESORTは洗練された空間に充実した設備を兼ね備えたリゾートホテル。目の前にはエメラルドグリーンに輝く海が広がり、周囲の緑豊かな風景とともに、訪れる人々に心からの癒しをもたらしてくれる。全室オーシャンビューの本館では朝は波音とともに目覚め、広々としたバルコニーでは海との一体感を感じながら贅沢な時間を過ごすことができる。さらに、戸建て感覚で利用できる2階建てのプライベートコテージも用意されており、家族やグループ旅行にも最適だ。滞在中はメインダイニング「PARADISE(パラダイス)」で、伊江島の新鮮な食材を用いた和洋流のアレンジ料理を味わえる。地元の食材を活かした創作フレンチ【琉球】はここでしか出会えない一皿ばかり。テラス席ではバーベキューを楽しむこともでき、開放的な空間の中で島の味覚を堪能できる。特別感に満ちたiE RESORTでのひとときは、伊江島での滞在をさらに印象深いものにしてくれる。



洗練された雰囲気漂う館内では、非日常のくつろぎを演出。



メインダイニング「PARADISE」は和洋流が融合した多彩な料理を味わえる。



客室は全室オーシャンビュー。雄大な海を眺めながら、贅沢なステイを楽しめる。



バルコニーに出れば、目の前に広がるのは青一面の海。

YouTubeで
 動画も配信中



YouTube



1. ゆとりあるプライベートコテージは自分だけの別荘にいるような特別な滞在を叶えてくれる。2. 敷地内に根を張る大きなガジュマルが、訪れる人をやさしく迎えてくれる。3. 室内はとても清潔感があり、広々とした空間とやさしい色調のインテリアが、穏やかな滞在を彩る。4. 室内には明るい自然光が差し込み、旅の疲れを癒す穏やかな時間が流れる。5. ゆったりとした二階の寝室で過ごすひとときが、旅の心地よい余韻を育んでくれる。



沖縄の風土とフランス料理の感性を融合させた創作フレンチ【琉球】。地元食材の持ち味を最大限に引き出しながら、洗練された盛り付けと繊細な味わいで魅了する。※料理の内容は季節により変更。(4月、7月、10月、1月)

ここでしか出会えない
 “沖縄の新しい味”。
 その一皿を体験してみよう。



iE RESORTのメインバー「LAGOON」は穏やかな時間がゆっくりと流れる大人のための空間。沖縄らしい泡盛を使ったカクテルをはじめ、色鮮やかなドリンクを楽しめる。喧騒を忘れさせる静けさと、洗練された一杯が、旅の夜を特別なものへと導いてくれる。



PONAM-31 Z Grade 海と語らう、はじめての釣行記

▶ 釣りガール「フッチー」と行く、三重県・鳥羽沖ポートフィッシング

納艇されて間もないPONAM-31 Z Gradeで釣りに初挑戦したいという長谷川オーナー。釣り初挑戦をサポートすべく、人気釣りガール「フッチー」こと、洲上万莉さんに同乗いただき、釣りの魅力や魚を釣るコツなどのレクチャーを受けながら挑戦する模様をお届けする。



長谷川オーナー(写真中央奥)を囲んで記念撮影。初釣行をともにするのは(左から)ゲストの清水さん、乾さん、そして乾さんの息子・颯太君。サポート役として、釣りガール・フッチーとユニマットプレシャス舟艇販売部の渡邊担当部長(写真右)も同乗。



アフトデッキにて、フッチーが釣りの魅力はもちろん、真鯛を狙うタイラバの仕掛けについても丁寧に解説してくれた。



マイボートでの初釣行 念願の釣りを体験

穏やかな潮流が流れる三重県鳥羽沖は真鯛や青物、根魚など多彩な魚種に恵まれ、年間を通して釣り人に親しまれる海域。なかでも今回の目的地・桃取水道は鯛や青物の実績も豊富な人気スポットとして知られる。当日、一行は愛知県豊川市の三河みとマリーナを朝8時に出航。オーナー所有のPONAM-31 Z Gradeで、約1時間のクルージングがたら桃取水道へ向かった。移動中の船内ではフッチーによる真鯛釣り講座がスタート。仕掛けとなるタイラバの種類や選び方にはじまり、魚との駆け引きまで、わかりやすい解説にオーナーやゲストも思わず前のめり。ポイントが近づく頃、初めての釣りに挑む長谷川オーナーの顔には期待の色が浮かぶ。「やっと釣りができる。とにかくみんなで楽しみたいですね。」と、胸の高鳴りを抑えきれない様子だった。



釣りを前にした記念の一枚。道具を手に笑い合う姿が、静かに特別な時間を彩っていた。



快適な室温に保たれたサロンは休憩エリアとしてもちょうどよく、長谷川オーナーとの会話も弾んだ。



1. オーナー艇のPONAM-31 Z Grade。ゆるやかな航跡を残して水面を駆け抜ける。2. ポイントに向かう道中、アフトデッキから楽しげに手を振ってくれた。3. 見晴らし抜群のフライブリッジでの操船に思わず笑顔がこぼれる。





TVASによって船体の向きやポジションを制御することで、両舷から複数人が同時に竿を出してもラインが干渉せず、全員が自分のペースで釣りを楽しめた。



1. アンチ・ローリング・ジャイロ(オプション)を採用したことで、海上での静止安定性もアップしている。2. 広々としたアフトデッキに立ち、フッチーものんびりと釣りを楽しんだ。

手探りの時間が深める釣りの醍醐味

桃取水道に到着後はGPS魚探を頼りに適切な水深と地形を探りながら、慎重にポイントを選定。しばらくして、タイラバに適した海底の起伏を見極めると、このポイントでしばらく粘ることに。しかし、当日は潮の流れが早く、ボートが流されてしまい、狙ったポイントをキープするのが難しい状況。そこで操船支援システムTVAS(トヨタ・バーチャル・アンカー・システム)を起動し、「バーチャルアンカーモードB」を使用。ピンポイントで狙った場所に留まり、真鯛の回遊を待つことにした。今回TVASを使う

ことで、アフトデッキの両舷から2人ずつ竿を出しても、お互いのラインが絡むことも無く、それぞれが自分のペースで釣りに集中できていた。フッチーもこの釣りやすさを高く評価しており、「ラインが絡まないことでストレスも減り、初心者の方にとっても大きなプラスになる。」と話してくれた。しかし、当日の海は序盤から肝心な魚の反応が鈍く、途中で答志島沖へとポイントを移したものの、目立ったアタリは得られなかった。フッチーのアドバイスを受けて、タイラバの重さや巻きスピードを変えるなど試行錯誤を重ねるも、魚からの応答がないまま時間だけが過ぎていった。それでも、オーナーやゲストの表情は明るく、工夫を重ねるその過程すら楽しんでいるようだった。ただ落として巻くだけでなく、誰もが自分なりに手を加えながら挑み続ける。釣果は伴わずとも、全員が「釣る楽しさ」に真剣に向き合っていた。

初体験のTVASについて、渡邊担当部長から実際に使用しながら機能について説明を受ける長谷川オーナー。操船支援システムの精度を高く評価してくれた。



仕掛けの作り方や釣り方はフッチーの実演を交えた的確なレクチャーで学んでいく。アドバイスを受けた後は徐々にリール操作や着底の感覚にも慣れ、各々が真剣な表情で竿を握る。静かな海に集中が深まるなか、アタリを信じて試行錯誤を続ける姿が印象的だった。

竿を最初に曲げたのは
最年少の颯太君。
待望の真鯛が
船内に上がった瞬間、
船上は一気に活気づいた。



小さな手でリールを懸命に巻く姿に船上の視線が集まる。巻き上げた仕掛けの先に狙っていた真鯛が姿を見せた。待望の1尾目に、自然と笑みがこぼれ、船内には拍手が響いた。

一投ごとに高まる期待のなか、
颯太君に続いて
長谷川オーナーにカサゴがヒット。
笑顔が絶えない船内には
釣りの楽しさと達成感が
ゆっくりと満ちていった。



午後の釣行前には広々としたサロンでお弁当を囲んでひと息。釣りの高揚感が落ち着き、静かなリズムが流れるひとときとなった。

仲間の笑顔と一尾の感動が彩った 船上での一日

午後の釣行を前に、一行は船内のサロンで昼食の時間を過ごした。用意した弁当を囲みながら、午前苦戦もどき吹風といった楽しい会話が飛び交い、船内は終始和やかな雰囲気。午後の部が再開されて間もなく、最初に竿を曲げたのは今回の釣行に参加していた中で最年少の颯太君。リールを巻く小さな手に緊張が走り、船上から海面を覗き込んだ時に現れたのは銀鱗がまぶしい真鯛。人生初の一尾に、船内は自然と拍手と歓声に包まれた。続いてオーナーが手応えを得て、小気味よい引きとともに赤褐色のカサゴを手にした。2人の嬉しそうな顔を見ていると、それぞれにとって、忘れたい一尾となったことは間違いない。釣行を終えた後、フッシーがオーナーに感想を伺うと、「今日は初めてだったけれど、釣果以上に釣りそのものの楽しさを満喫できて、十分に満足です。」と語ってくれた。また、オーナーは今回の体験を通して得た発見も口にした。「TVASを初めて使いましたが、物理的なアンカーを下ろさずに船位を一定に保てるのは初心者にとって非常に心強い機能です。表示に従ってボタンを押すだけで船体の向きが安定するのは想像以上に便利でありがたかったです。」と評価してくれた。さらに、「ジャイロのおかげで今日は颯ちゃんも全く酔わなかったので、ゲストやその家族を安心して乗せられました。」と語り、満足げな表情を浮かべてくれた。釣果に一喜一憂するだけでなく、海に出て、大切なゲストと語り、魚と出会う。この日には釣りが持つ本質的な魅力がたくさん詰まっていた。



釣りの合間、オーナーにお弁当を紹介する颯太君。ジャイロが効いた船上では元気に釣りや食事を楽しんでいた。ジャイロはゲストが少しでも酔わないよう、オーナーが特に拘ったオプションの一つ。その微笑ましいやりとりにはゲストが安心して過ごせる空間をつくりたいという、オーナーの思いが静かににじんでいた。



今回のタイラバ釣行では専用ロッドに小型の電動リールを組み合わせ、PEラインは0.6~0.8号、リーダーは3~4号を用意。ヘッドは潮流を意識して60gを選択。ネクタイはオレンジ系、二本針仕様の仕掛けで臨んだ。

フッシーお勧め タイラバタックル /

- ロッド: DAIWA 紅牙 THRILL GAME AP
- リール: DAIWA TIERA A IC
- PEライン: XBRAID 0.8号
- リーダー: XBRAID FCアブソーバー4号
- タイラバヘッド: RISEJAPAN なみだまTG 60g
- ネクタイ: RISEJAPAN



取材協力

株式会社ユニマツプレシヤス 舟艇販売部 中部営業所
〒441-0314 愛知県豊川市御津町御幸浜1-1-21
TEL: 0533-75-2780



静かな夜を彩る、ラグジュアリーボートの饗宴

Ocean Breeze Premium in Ashiya Marina開催

兵庫県芦屋市にある芦屋マリーナにて、「Ocean Breeze Premium in Ashiya Marina」が4月19日(土)・20日(日)の2日間にわたり開催された。国産艇から輸入艇まで20艇の人気モデルが並ぶなか、今回の注目は同イベント初となるナイトイベント。幻想的なライトアップとともに、大型艇を間近に眺めながら過ごす特別な時間が用意され、来場者は非日常のひとつきを過ごした。日中には出展艇の展示や試乗も行われるなど、プレミアムなマリンライフを肌で感じられる充実した内容となっていた。



兵庫県芦屋市の芦屋マリーナで開催された「Ocean Breeze Premium in Ashiya Marina」。今回は同イベント初となるナイトイベントも実施。イベント当日は2艇並んだLEXUS LY650などの大型艇が幻想的なライトアップに包まれ、美しい光景が会場を満たしていた。



クラブハウスからはライトアップされた大型艇やクルマが一望できた。特等席から望むその光景はまさに贅沢そのもの。



芦屋マリーナのクラブハウスでは高級腕時計「リシャール・ミル」や、フランス発のオートパフェューマリー「アンリ・ジャック」が空間を彩り、まるでプライベートサロンのような雰囲気を感じた。来場者は展示された逸品の数々を眺めながら、洗練されたマリンライフの一端を感じていた。



1. ナイトイベントではトヨタマリンによるトークショーも開催され、上田孝彦マリン事業部長(中央)と林豪マリン事業副部長(右)が「LEXUS LY650の開発背景や今後の展望について語った。2. ディナー会場となったレストラン「マレロツ」には大勢のゲストが足を運んだ。3. シェフのこだわりが詰まったブッフェディナーは彩り・香り・味わいが見事に調和していた。

幻想的なライトアップに包まれる上質なひととき

プレミアムなポートイベントの舞台となったのは都市近郊に位置し、大阪や神戸からのアクセスも良好な芦屋マリーナ。今回は昼と夜の2部構成で行われ、夜は同イベントでは初となるナイトイベントを開催。クラブハウス前のビジター桟橋には80ftの「INFINITI 80 HORIZON MY」をはじめ、「LEXUS LY650」が2隻横並びに係留されるなど、壮観な光景が広がった。陽も完全に落ちた頃、ライトアップされた船体は美しい光を纏い、その様子はまさに「夜の

マリーナ」の真骨頂。日中とは異なる艶やかな表情を見せるラグジュアリーボートの姿に、訪れた人々は思わず足を止め、カメラを向けていた。また、レストラン「マレロツ」ではブッフェ形式のディナーが用意され、シェフが趣向を凝らして調理した料理の数々は味わい・見た目ともに洗練されており、会場の非日常感を高めていた。夜風が頬をなでるなか、洗練された展示艇が放つ圧倒的なスケール感を存分に堪能する。そんな稀有な体験がそこにはあった。



実際に「見て」「乗って」

ボートの世界を肌で感じる

昼の時間帯には展示や試乗を中心としたイベントが行われ、芦屋マリーナには国産艇から輸入艇まで幅広いラインナップの計20艇が揃った。参加者は自由に船内を見学でき、一部の艇には実際に試乗することも可能で、マリライフの魅力を肌で感じるにはまさに絶好の機会だった。棧橋には大型艇だけでなく、20ftクラスから30ftクラスの人気モデルもずらりと並び、来場者はメーカーごとの乗り心地や内外装のデザインテイストをじっくりと比較することができた。細かな装備やメンテナンス面についても、メーカーや販売店の担当者がすぐそばで丁寧に対応しており、カタログやWEBでは得られない、「生の情報」が飛び交っていた。「いつかはボートを」と考えていた人にとって、その「いつか」が少しだけ現実に近づいた、そんな2日間だったに違いない。

日中は展示・試乗を中心としたイベント内容となっており、クラブハウス前のピジター棧橋には迫力十分の大型艇がずらりと並んだ。



芦屋マリーナ内にはレクサスのフラッグシップMPV「LM」や、プレミアムSUVとして支持を集める「RX」など、ブランドを代表するモデルも展示された。



クラブハウス前の展示エリアでは係留した状態での船内見学が行われ、棧橋に向かって整然と並んだ船影は圧倒的な存在感を放っていた。



第二展示棧橋には国産艇から輸入艇まで多彩なモデルが並び、来場者は乗り心地や内外装の違いを比較しながら、各メーカーのこだわりを肌で感じていた。

イベント主催	大阪トヨペット株式会社 マリン事業部 TEL:0797-35-7373	取材協力	芦屋マリーナ 〒659-0035 兵庫県芦屋市海洋町11-1 TEL:0797-35-6662
--------	--	------	---



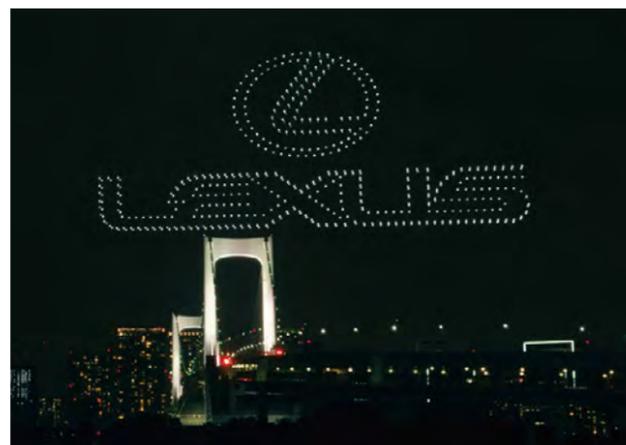
STAR ISLAND 2025



『STAR ISLAND 2025』は都市の夜空を舞台にした未来型花火エンターテインメント。音楽と連動する花火がドローンやレーザーなどの演出と重なり、東京湾の空を鮮やかに染め上げた。



LEDを搭載したドローンによる立体演出をはじめ、水面を舞う躍動感を楽しめるウォーターパフォーマンス、迫力満点のファイヤーパフォーマンスなど、圧巻のショーで幻想的な舞台を一層ドラマチックに演出した。



東京湾の夜空にはLEDを搭載した多数のドローンが正確な位置測定と制御技術によって、精密かつ迫力ある動きを披露。鮮やかに刻まれた「LEXUS」のロゴは会場でも一際注目を集めた。

感性を揺さぶる、多層的な演出

5月24日と25日の二日間、東京・お台場海浜公園にて開催された未来型花火エンターテインメント「STAR ISLAND 2025」。音楽と連動した花火に加え、LEDを搭載したドローンによる立体演出、鮮やかなレーザーショー、ファイヤーパフォーマンスなど、多彩なパフォーマンスが融合し、観客を圧倒する没入型のショーが展開された。会場内に設けられたSTARラウンジにはLEXUSが誇るフラッグシップ「LY680」の模型を展示。イメージ映像と

ともに、来場者にその洗練された世界観を余すことなく伝えていた。また、会場の車両展示エリアには都会的なコンパクトSUV「LBX」や、移動の概念を一新するラグジュアリームーバー「LM」が並び、STAR ISLANDならではの非日常的な演出空間にふさわしい佇まいを見せた。イベントではLEDを搭載した多数のドローンが正確な位置測定と制御技術によって、精密かつ迫力ある動きを披露。大海原に浮かぶような東京湾の空間をキャンバスに、LEXUSのロゴを精緻に描き出し、観客の視線を釘付けにした。綿密に構築された演出はエンターテインメントの域を超え、ひとつの“体験”として観客の感性に深く触れていた。



会場内に設けられたSTARラウンジは洗練された空間を演出。LEXUSのフラッグシップ「LY680」の模型も展示され、映像演出とともに、その世界観を来場者に深く印象づけた。



STARラウンジでは来場者を上質なドリンクやエレガントな装飾で迎えた。ラウンジ内にはDJブースも設けられ、躍動感溢れる音楽でラウンジの雰囲気盛り上げた。



会場ではクルマの展示エリアも設けられ、都会派コンパクトSUV「LBX」やラグジュアリームーバー「LM」が並んだ。展示エリアにはSTAR ISLANDやLEXUSのロゴを象ったスタンドが設置され、訪れたゲストがブランドの世界観を切り取ることで特別なフォトスポットとして機能していた。

蒲郡マリンフェスティバル in ラグナマリーナ初開催



会場には国内外のメーカーが手掛けた多彩なボートがずらりと並び、LEXUS LY650の内覧も実施されるなど、注目度の高い展示内容となっていた。

春の気配が漂う三河湾に面した蒲郡で、新たな海の催し「蒲郡マリンフェスティバル」が初開催された。このイベントは2月28日(金)から3月2日(日)にかけて愛知県蒲郡市で行われた「2025全日本ラリー選手権」の開幕戦「RALLY三河湾2025」との同時開催となっており、モータースポーツとマリンカルチャーが溶け合うなか、蒲郡の街は確かな熱気に包まれていた。



当日はトヨタマリンのPONAM-31やPONAM-28Vの乗船体験、PONAM-35swの内覧に加え、参加された各社・各艇への乗船・船内見学をすることができ、来場者は海のモビリティの魅力を堪能。加えてLEXUS LY650も特別展示(予約内覧)され、多くの来場者が撮影するなど注目を集めていた。



海上桟橋では各社の豊富なプレジャーボートへの乗船体験・船内見学をすることができ、春の陽気の下、実際に船に触れることで海上での走行感や上質な船内空間という非日常感の雰囲気を楽しんでいた。



陸上エリアには各メーカーや会場となったラグナマリーナの展示ブースも設置。トヨタマリンブースでは最新の操船支援をVR体験するコーナーが設置され、大人から子供まで楽しく体験していた。また、トヨタマリン営業所前にはLEXUS LM500h、LBX MORIZO RRも特別展示され、マリンフェスティバル、RALLY三河湾双方の来場者から関心を集めていた。

RALLY 三河湾2025に熱狂

陸上では、「RALLY三河湾2025」に参戦するクルマが姿を見せたほか、人気レーサー・勝田貴元選手によるトークショーや、GAZOO Racingのグッズショップもオープン。実際のラリーカーが各エリアに展示され、その精悍なシルエットと存在感のあるデザインが多くの来場者の視線を惹きつけていた。非日常の興奮と開放感に満ちた空間には、家族連れからラリーファンまで幅広い層が訪れ、マリンとモータースポーツの両方を楽しめるユニークなイベントとして、魅力的な構成となっていた。



1. TOYOTA GAZOO Racingブース内に展示されたMORIZO Challenge cup GR Yarisはその圧倒的な存在感で、会場の注目を集めていた。2. ブース内に設けられた特設ステージでは参戦チームによるトークショーが開催。スペシャルゲストで勝田貴元選手も参加した。3. TOYOTA GAZOO Racing公式グッズを販売するショップもあり、多くの人で賑わいを見せていた。4. 水素燃料エンジン搭載のカートとカーボンニュートラル燃料を使用するカートの展示も行われた。5. 水素を「運び」、「使う(=発電・給電)」FC小型トラックも配置され、多様な水素利用の実例などを紹介していた。6. 「RALLY三河湾2025」に参戦するクルマを間近で見ることができ、力強く引き締まったフォルムと、色とりどりの鮮やかなデザインは会場の視線を一身に集めていた。7. 会場にはイマーシブ映像で迫力あるラリー走行、船のクルージングを体験できる車両も設置。8. 9. GR仕様のレンタカー展示に加え、各社の様々なコンセプトのクルマが展示されており、見応え十分の内容となっていた。

マリンの魅力に触れる 絶好の機会 エリア別ボートショーで 船に乗ろう

日本最大級のマリンイベント「ジャパンインターナショナルボートショー」が毎年3月に横浜で開催されるのを皮切りに、国内では全国各地でエリア別ボートショーが行われている。今回はトヨタマリンも出展した4つのボートショー（関西、中部、四国、広島）の模様をご紹介します。



エリア別に開催されるボートショーは多くの人気モデルに試乗できる。メーカーごとの違いを比較したい方はもちろん、これからマリンレジャーを始めてみたい方にとっても、実際に乗ることでその楽しさを身近に感じられる。

人気モデルに“乗れる”チャンス 地方開催は試乗艇多数

国内で開催されるボートショーの中でも、最も注目を集めるのが3月に横浜で開催される「ジャパンインターナショナルボートショー」。大規模な展示会場にはボート、ヨット、水上バイク、マリン用品など、各社の最新モデルが集結し、マリン業界の動向を体感できる場として、例年多くの来場者で賑わう。一方で、横浜以外の地域でも、春から初夏にかけて各地でボートショーが開催され、陸上や海上には各社の最新モデルが並ぶなど、充実した展示内容となっている。特に地方開催のボートショーは試乗艇のラインナップも豊富なため、国産艇・輸入艇を問わず、人気モデルに実際に乗って性能を確かめられることが多い。これは

購入を検討する方にとって、非常に貴重な機会だ。カタログや写真を見る以上にそれぞれのモデルを細かくチェックすることが可能だ。こうした傾向から、まずは横浜で全体のトレンドを把握し、気に入ったモデルに地方開催のボートショーで試乗する。これが、理想の一艇に出会うための近道だ。また、春の開催を逃してしまったという方も、秋にボートフェアが各地で開催予定のため、各種イベントの最新情報を日本マリン事業協会の公式サイトでチェックしておこう。

全国ボートショー
開催マップをチェック



1. 関西ボートショー2025

【開催期間】
2025年4月11日(金)～13日(日)
10:00～16:30
【開催場所】
新西宮ヨットハーバー
兵庫県西宮市西宮浜4-16-1

出展艇
45艇

西日本最大級のボートショーで、国内では横浜で開催されるジャパンインターナショナルボートショーに次ぐ規模で行われる。海上には大小様々なタイプのプレジャーボートやヨットを展示。陸上にはマリン用品やマリン紹介ブースが多数並ぶ。



3. 四国フローティングボートショー2025 海フェスティバル in 新居浜

【開催期間】
2025年5月10日(土)～11日(日)
10:00～16:00
【開催場所】
マリンパーク新居浜
愛媛県新居浜市垣生3丁目乙324番地

出展艇
27艇

四国エリアで最大級の規模を誇るボートショー。栈橋には豊富な試乗艇が揃い、試乗も充実。海上保安庁所属の「CL85:はまぎく」の海上展示をはじめ、ダイワプロスタッフによるフィッシングトークショーなど、様々なイベントを開催。



2. 中部ボートショー2025 in 常滑

【開催期間】
2025年5月17日(土)～18日(日)
10:00～16:00
【開催場所】
NTPマリーナりんくう
愛知県常滑市りんくう町3丁目6番地の1

出展艇
31艇

当日はウェイクサーフィンや釣りに関するセミナーを開催。トヨタマリンではPONAMシリーズの展示・試乗に加えスマート機器を使ったスマート操船体験や、VRゴーグルを使った離着岸のバーチャル体験を実施。海上には国産艇～輸入艇まで、豊富な出展艇が揃う。



4. 第37回 広島ボートショー マリン・グラン・フェスタ2025

【開催期間】
2025年5月24日(土)～25日(日)
10:00～16:00
【開催場所】
広島観音マリーナ
広島県広島市西区観音新町4-14-6

出展艇
25艇

最新モデルの展示試乗はもちろん、広島湾をクルージングする乗船体験会を実施。他にも、ハンザディンギー、SUPに無料で挑戦できるマリンスポーツ体験を開催。来場者が楽しみながらマリンレジャーの魅力を感じられるプログラムが魅力。



マリングャラリークルーズ

MARINE GALLERY CRUISE

マリングャラリークルーズ(株式会社トレイズ)
〒064-0805 北海道札幌市中央区南5条西27丁目3-1
TEL:011-562-3225 FAX:011-562-3226
https://trays.co.jp/cruise/



札幌発、人と海をつなぐ マリングャラリー



今年5月に開催された「マリン
スプリングフェスティバルin
おたる2025」に、マリングャラ
リークルーズがPONAM-31
Z Gradeを展示。

1. 雨空をもとめず、ブースには熱心なマリンファンが次々と足を運んでいた。2. 実艇展示ではZ Gradeの外観や内装をじっくり確認することができた。3. ショップロゴ入りのジャンパーを着たスタッフが一体となり、ポーナムシリーズの魅力来場者にアピールしていた。4. ボートやヨットの展示に加え、スポーツカーやマリンエンジン、ジャイロまで多彩な展示が会場を賑わせた。5. 海上にも各メーカーの実艇が保留され、展示や試乗が行われた。6. 陸上エリアには各社の注目モデルが並び、細部まで見学できる貴重な機会となった。7. 北海道随一のスケールを誇る小樽港マリーナ。海との豊かな時間を支える海遊びの拠点として多くのオーナーに親しまれている。

取材協力

小樽港マリーナ

〒047-0008 北海道小樽市築港5番7号
TEL:0134-22-1311 FAX:0134-22-1337



四季を遊び尽くす 札幌の“遊び基地”

札幌市中心部からクルマで約10分という好立地にあるマリングャラリークルーズ。ボートや水上バイクの販売、修理、メンテナンス、免許スクール、用品販売まで、マリンライフを一貫してサポートしてくれる。店内にはボート、水上バイク、SUP、マリンウェアなど、豊富なマリンアイテムが並ぶだけでなく、スノーボード関連の商品や体験型のボルダリングウォールもあり、四季を通じて

様々な遊びを提案している。特にスノーボード分野ではワールドカップの大会運営にも携わっており、店内では優勝トロフィーを間近で見られるなど、ウィンタースポーツでも確かな存在感を放っている。また、近郊の小樽市には会員制ビーチがあり、夏場は多くの会員がここを拠点にマリンレジャーを楽しんでいる。札幌市からアクセスの良い小樽近海はニセコ積丹小樽海岸国定公園を中心に、青の洞窟や奇岩が連なる雄大な海岸線が広がり、ボートだからこそ間近で体感できる地形美はこのエリアの大きな

魅力の一つ。近隣にはランチクルーズを楽しめる漁港もあり、マイボートを所有する喜びを存分に味わえる。釣りに目を向ければ、ホッケやヒラメ、ブリ、さらには北のタイと言われるソイといった魚種にも恵まれ、鮮度抜群の海の幸も楽しめる。撮影当日は北海道屈指の規模を誇る小樽港マリーナで展示試乗会が開催されており、マリングャラリークルーズもPONAM-31 Z Gradeを展示。活気あふれる会場で、PONAMシリーズの魅力を一ひと丁寧届けようとする真摯な姿が印象的であった。



札幌市内にあるマリングャラリークルーズ。札幌の中心部からもアクセス抜群の位置にあり、海遊びを幅広く提案してくれるお店として、1990年の開業以来、高い信頼を築き上げてきた老舗ショップ。一艇一艇に寄り添う丁寧な対応力で、多数のボート販売実績を誇る。



お店には豊富な種類のSUPをはじめ、スノーボード関連の商品も並び、四季を通じた様々なアイテムを多数品揃えている。店の奥には道具不要で気軽にボルダリング体験ができる「CRU-KABE」が設置され、こちらも人気を集めている。店内にはテーブルやカウンターもあり、のんびりと寛ぎながら様々な遊びの相談ができる。

販売スタッフが語る ポーナムが選ばれ続ける理由とは

今回お話を伺ったのはマリングャラリークルーズの米谷幸彦氏。「人と人とのつながりを大切にする」というポリシーのもと、販売後もオーナーとのコミュニケーションを重視しており、操船レクチャーや航海計器の使い方など、必要に応じてオーナーを手厚くフォローしてくれる。そんな米谷氏にお話を伺うと「個人的にはTDS(トヨタ・ドッキング・サポート)のサイドスライドモードは離着岸時に船を真横に動かすことができ、その精度が本当に素晴らしいです。TVAS(トヨタ・バーチャル・アンカー・システム)のおかげで、オーナー様が自らアンカーを落とす場面は一度もありませんよ。」と語るなど、操船支援システムを高く評価してくれた。他にも、「お客様は皆さん、トヨタであることを本当に信頼してくださっていて、他メーカーに乗り換えたいといった声は全く聞きません。」その背景にはトヨタマリンのサポート

体制に対する高い評価があるようで、米谷氏曰く、営業・サービスいずれの対応も丁寧かつ誠実で、特殊な艤装相談に対する迅速な回答など、細部にわたる配慮が厚い信頼につながっているという。さらに、製品としての完成度の高さも語られる。「エンジンはもちろん、一つひとつの部品の作り込みまで非常に丁寧です。他メーカーの船で見られるような、部品の破損や脱落といったトラブルも、トヨタのボートでは一切ありません。」そうした品質の高さが、販売現場でも確かな安心感を生んでいる。最後に、今後のトヨタ

マリンに対する期待について尋ねると、「PONAM-35よりもさらに上位のクラスがあると、よりご提案の幅が広がるかもしれません。また、20フィート台のラインナップや、PONAM-31と35の中間にあたるサイズの新たなモデルなど、そうしたニーズに細かく応えられるような展開があれば嬉しく思います。」と語ってくれた。マリングャラリークルーズにとって、ポーナムは単なる商品ではなく、安心と信頼の象徴であり、顧客との海の時間を支える、変わらぬ主力ブランドであり続けるだろう。

スノーボードワールドカップの優勝トロフィーを店内に展示。大会運営にも深く関わるなど、ウィンタースポーツ分野でも存在感を放っている。

現場目線でポーナムの魅力を語ってくれた米谷幸彦氏。販売経験も豊富で、オーナーに最適な1艇を提案してくれる。単なる売買にとどまらず、人との縁を大切にしている。



PONAM-35sv

PREMIUM CRUISER



PONAM-35svは外洋での本格的な釣りにも対応できる優れたフィッシング機能に加え、居住性能の高いラグジュアリーなサロンを兼ね備えたプレミアムクルーザー。次世代のトヨタハイブリッドハルは高強度FRP、カーボン繊維、アルミ合金の異なる特徴を持つ素材を最適に配置させる新たな工法で、軽量化と高剛性を両立。開放感溢れるサロンにはウッド調のフローリングを設置し、カラーリング

PONAM-35sv

を一新することで、モダンさの中に和を感じられる心地よい空間を演出。パウダールームはシャワールームとトイレ空間を分離することで、使いやすくなる清潔な空間を実現。また、風や潮流の影響を軽減し、直感的なジョイスティック操作を実現する次世代の操船支援システムTDA+(トヨタドライブアシストプラス)を導入(オプション設定)している。※TDA、TVAS、TDSは標準装備。

全長/全幅	11.95m/3.94m
エンジン型式(ディーゼル)	M1VD-VH
排気量	4,461cc × 2基
最高出力	272kW(370PS) × 2基
使用燃料	軽油
ハル	トヨタ ハイブリッド ハル

燃料タンク容量	1,000リットル
清水タンク容量	170リットル
定員	12名 (フライブリッジ 5名)
航行区域	沿海
本体メーカー希望小売価格(税込)	120,000,000円

詳細はこちら



PONAM-31

SPORT UTILITY CRUISER



PONAM-31は「スピード」「乗り心地」「居住性」の全てにこだわり抜いた、「走りの楽しさ」を体感できるボートで、走行時には抜群のスピードはもちろん、高い安定性も発揮し、スポーティーな走りを存分に楽しめる。サロン入口には3枚扉を採用し、従来よりもワイドな開口部の実現により、サロンとデッキの一体感を感じられる。「Zグレード」は「Workcation Utility & Luxury Party Style」を開発コンセプトに、利便性とスタイリッシュさを両立する新装備を数多く採用。デザイン面ではクルマのドレスアップパーツを世に送り出す「MODELLISTA」とボートでは初めてコラボレーションし、先進かつ優雅な佇まいを演出。また、船内にはオプションでWi-Fi設備をビル

PONAM-31

トインすることが可能で、海を眺めながらの開放的なサードプレイスのワークスタイルを実現。室内空間は誰もが船内で寛げる快適性が追求され、トヨタ車両にも多く採用される「ナノイーX」を搭載(標準装備)している。

Xグレードのサロンはネイビーカラーをアクセントにレザー調で統一され、ソファやテーブルの高さを低めに抑えることで、広がりのある室内空間を演出。Zグレード、Xグレードともにオプションで安心かつ正確な離着岸ができるTDSに加え、次世代支援システムTDA+も搭載可能となり、これまで以上に操船の負担を軽減してくれる。まさにスポーツユティリティクルーザーの名に相応しい1艇となっている。

全長/全幅	10.57m/3.20m
エンジン型式(ディーゼル)	M1KD-VH
排気量	2,982cc × 2基
最高出力	191kW(260PS) × 2基
使用燃料	軽油
ハル	アルミ合金製

燃料タンク容量	620リットル
清水タンク容量	110リットル
定員	12名 (フライブリッジ 5名)
航行区域	沿海
本体メーカー希望小売価格(税込)	Zグレード 49,940,000円 Xグレード 45,870,000円

詳細はこちら



PONAM-28V

PREMIUM SPORT CRUISER



PONAM-28VはFRP、アルミ材、カーボン繊維の3種類をバランス良く使用したトヨタハイブリッドハルを採用し、従来のアルミハルに比べ、同等以上の剛性感と凌波性を実現するだけでなく、船体重量の軽量化にも成功している。さらに、1基掛けエンジンでは世界初となる1軸TVASには作動中の充電機能を追加しており、使用時間が従来

PONAM-28V

の約2倍に延長されたことで、これまで以上に長時間のフィッシングにも対応可能となった。船体のデザインはカーデザインで採用される複雑な3D曲面により、立体的なフォルムと曲線美を追求し、美しいデザインを実現。他にも、キャビン内には自動車で培った技術に応用した業界最高レベルの除湿機能付きマリニアコンを搭載している。

全長/全幅	9.14m/3.16m
エンジン型式(ディーゼル)	M1KD-VH
排気量	2,982cc × 1基
最高出力	191kW(260PS) × 1基
使用燃料	軽油
ハル	トヨタ ハイブリッド ハル

燃料タンク容量	330リットル
清水タンク容量	56リットル
定員	12名
航行区域	平水、限定沿海、沿岸
本体メーカー希望小売価格(税込)	Xグレード 35,420,000円 Sグレード 27,610,000円

詳細はこちら





TOYOTA MARINE Ocean Style

- 発行人 トヨタ自動車株式会社 ■ 編集長 野崎 武 (マリン事業部)
- フォトグラファー 福地 和男 / 石川 三紘 / 石川 雄基 ■ ライター 中田 雅博 / 石川 雄基 / 神谷 仁
- デザイン・レイアウト 野口 浩司 / 加藤 憲明 ■ 企画・製作 M's PLANNING inc.

TOYOTA MARINE × muta MARINE

コラボポロシャツプレゼント



まえ

うしろ

アンケートにお答え頂いた方の中から
抽選で3名様に
TOYOTA MARINE × muta MARINE
コラボポロシャツをプレゼントいたします。

応募締切: 2025年10月31日(金)まで

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

アンケートに
回答する

所要時間: 約4分



※ご回答頂きましたアンケート内容に関しましては、今後の編集・企画立案の際に参考にさせていただきます。また、ご入力頂きました個人情報については読者プレゼント発送のほか、当社が個人の内容を特定できないような統計的な資料を作成する際に利用させて頂く場合もございます。個人情報に関しましては当社にて厳重に管理し、この目的以外で許可なく第三者への提供はいたしません。

海とあなたをつなぐ架け橋になりたい。

MOBILITY FOR ALL



PRODUCED BY OSAKA TOYOPET GROUP

OTG MARINE OFFICE 〒659-0035 兵庫県芦屋市海洋町11-3 TEL:0797-35-7373

TOYOTA MARINE

True Moments

海を駆ける愉しさに、更なる洗練と上質を。
表層的な美しさだけにとらわれることなく、
目指したのは深く本質的な進化。

船上で過ごすすべての瞬間を、
心の中から湧き上がる深い満足感で彩るために。
自分らしい時間を愉しむ、本質的な喜びをあなたに。

Premium Cruiser
New PONAM-35SV



※画像はCG画像です。

詳しくは、お近くのトヨタボート販売店、またはフリーダイヤルへお問い合わせください。

トヨタ自動車株式会社 マリン営業所 ☎ 0120-532-451 www.toyota.co.jp/marine/

TOYOTA
MARINE



トヨタマリン刊行のマリンライフが楽しくなる情報をまとめた季刊誌「Ocean Style」





be free!



PHOTO: PONAM-31 X grade ※写真には撮影用小物、オプションパーツ等を含むことがあります。

Sport Utility Cruiser

PONAM-31 X Grade

詳しくは、お近くのトヨタボート販売店、またはフリーダイヤルへお問い合わせください。
トヨタ自動車株式会社 マリン営業所 ☎0120-532-451 www.toyota.co.jp/marine/

TOYOTA
MARINE



トヨタマリン刊行のマリンライフが楽しくなる情報をまとめた季刊誌「Ocean Style」



NTP マリナーりんくう



中部圏トップクラスのサービスセンターは、
大型艇の修理、メンテナンスからカスタムまで対応。
お気軽にご相談ください!!



〒479-0882 愛知県常滑市りんくう町3-6-1
TEL.0569-35-7200

www.ntp.co.jp/marina/rinku



70ftクラスを4隻収納可能!



マリナーハウス

BBQコーナーを設置



クラブハウス/メインサロン



レストハウス



修理工場



NTP マリナー高浜



名古屋中心部から車で45分。
家族や気の合う仲間たちと
のんびり快適なマリナーライフを。
レンタルボートクラブ、ボート免許スクールも実施!!

〒441-1325 愛知県高浜市青木町1-1
TEL.0566-54-5300

www.ntp.co.jp/marina/takahama



ボートの事なら販売・保管・メンテナンスまで全てお任せください!!



空から海へアクセスできる、
新しいマリナライフの提案



「家族と楽しむ海」がコンセプトの
アットホームなマリナー

新規艇置 契約募集中!

年間保管料の一例	
例 りんくう 45フィートの場合	例 たかはま 35フィートの場合
年間保管料(海上:B棧橋) (税込み) ※特約付 1,776,500円/年	年間保管料(海上:B棧橋) (税込み) 726,000円/年
年間保管料(海上:B棧橋) ※特約なし 2,090,000円/年	年間保管料(陸上) 1フィート 11,000円/年

※船台料金別途。※陸上保管は実測長にて算出。※上記料金はあくまでも参考です。艦装によって変更あり。

◎上記以外に各入会諸経費が必要となりますので、
詳しくはスタッフまでお気軽にお問い合わせ下さい。

特選商品艇多数あり! 詳細等NTPマリンプラザ
ショールームページをご覧ください!!

NTP MARINA RINKU **NTP マリナクラブ**

会員募集中!

オーナー感覚でマリナライフを楽しむ! レンタルボートクラブの
ワンランク上のステータスを追求した会員制クラブ
NTP マリナクラブ事務局
☎ 0569-35-7820

NTP **ボートライセンススクール**

受講生募集中! 抜群の合格率!

1級、2級、特殊小型(水上オートバイ専用)の3コースをご用意。
一例(2級) ¥98,000(税込)
NTP ボートライセンススクール事務局
☎ 0566-54-5301

NTP MARINA RINKU **NTP レンタルボートクラブ**

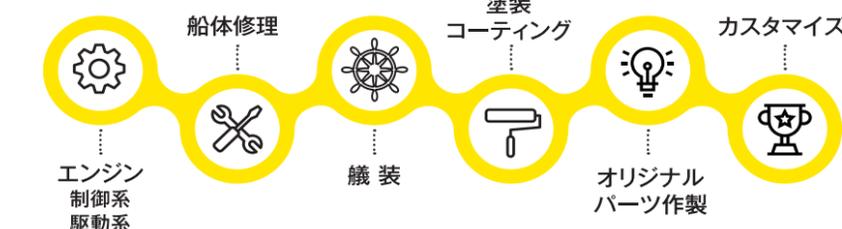
会員募集中!

いつでも、乗りたくなったらレンタルボート! ボート免許取得者で
18才以上の方ならどなたでも入会可能な会員制クラブ
NTP レンタルボートクラブ事務局
☎ 0566-54-5300

MARINE SERVICE



NTP MARINE SERVICE CENTER



マリンサービス
NTPマリンサービスセンターは、様々な艦装対応、船体修理を始め、オリジナルパーツからカスタマイズまで、高い技術力と内製体制でオーナー様のご要望にお応えします。

名古屋方面からの
アクセス良好!

名港潮見 東海JCT 伊勢自動車道路
トヨタ自動車 名港センター
名古屋南 JCT
NTP マリナー 高浜
東海道路
伊勢湾
南知多産業道路
常滑 522
半田 中央JCT
知多半島道路
武豊線
衣浦トンネル
りんくう インター入口
常滑駅 セントレアライン
りんくう 常滑駅
セントレア 中部国際空港
NTP マリナー りんくう

muta

M A R I N E

uno stile senza compromessi
per una vita piu' bella e creativa

Official Store location

[muta ONLINE STORE] www.muta-japan.com [muta TOKYO JAPAN] 03-6721-0348 [muta MARINE TOKYO] 03-5770-4498 [muta MARINE GOLF PALAZZO] 03-5220-4498 [muta MARINE GOLF NIHONBASHI TAKASHIMAYA] 03-6281-8380
[muta MARINE GOLF SHINJYUKU TAKASHIMAYA] 03-5990-2888 [muta MARINE ZUSHI] 0467-39-5589 [muta MARINE YOKOHAMA] 045-319-4682 [muta MARINE SENDAI] 022-281-9658 [muta SALONE] 052-265-8852
[muta MARINE GOLF the MODA] 052-777-7373 [muta MARINE RINKU] 0569-38-1266 [muta MARINE GOLF NAGOYA MATSUZAKAYA] 052-264-2798 [muta MARINE GOLF JR NAGOYA TAKASHIMAYA] 052-566-3874
[muta GLOBALE KANAZAWA] 076-264-8881 [muta MARINE BIWAKO] 0775-36-6445 [muta MARINE KYOTO] 075-223-5530 [muta MARINE GOLF KYOTO TAKASHIMAYA] 075-252-7964 [muta MARINE OSAKA] 06-6484-6134
[muta MARINE GOLF OSAKA] 06-6224-0855 [muta MARINE KIDS OSAKA] 06-4256-2955 [muta MARINE GOLF OSAKA DAIMARU SHINSAIBASHI] 06-6252-5001 [muta MARINE GOLF OSAKA TAKASHIMAYA] 06-6632-9874
[muta GLOBALE KOBE] 078-232-3988 [muta MARINE HIROSHIMA] 082-247-6660 [muta MARINE KIDS HIROSHIMA] 082-567-4383 [muta MARINE OKAYAMA] 086-230-4580 [muta MARINE MATSUYAMA] 089-933-8150
[muta MARINE FUKUOKA] 092-723-0018 [muta MARINE GOLF IWATAYA HONTEN] 092-713-0018 [muta MARINE OKINAWA] 098-988-7088 [muta MARINE OKINAWA COLLINA DEL MARE] 098-989-8626



www.muta-japan.com

muta JAPAN co.,Ltd
Copyright© 2015-2025
muta MARINE ALL Rights Reserved.

START YOUR IMPOSSIBLE 



GR TOYOTA GAZOO Racing

発進・加速はゆるやかに。エコドライブに心がけよう。

Photo:左から順にGR COROLLA RZ(6MT・4WD)、ボディカラーはプラチナホワイトパールマイカ(089)、GR Supra RZ(8AT)、ボディカラーはホワイトメタリック(D01)、GR YARIS RZ"High performance"(GR-DAT(8AT・4WD))、ボディカラーはプラチナホワイトパールマイカ(089)、GR86 RZ(6AT)、ボディカラーはクリスタルホワイトパール(K1X)、365日お車選び、装備の使い方、メンテナンス、最寄の販売店、その他カーライフに関することなどお気軽にご相談ください。トヨタ自動車(株)お客様相談センター **TEL** 0800-700-7700 9:00~17:00 <https://toyotagazooracing.com/>

詳細はこちら



フォーム/チャット/手話
通訳の問い合わせサー
ビスもご利用いただけま
す。詳しくはWEBページか
らご覧ください。





LC

LC500h / LC500

